平成30年度　高生中学校通信
5月号

平成３０年　５月２９日

輝け！高生中

文責　校長　和田義則

第2学年　農村宿泊体験学習　～出会いから学ぶ～

5月8日（火）～10日（木）山口県萩市周辺において、農村宿泊体験学習が行われました。田植え、野菜の収穫、家畜の飼育等の農作業や、魚のさばきやこんにゃく作りなどの料理等、様々な日頃できない農業体験を通して、人の命を育む農業の大切さを感じた思います。さらに、受け入れ家庭の方にお世話になる中で、礼儀やマナー、そして自分を育ててくれている人々への感謝の心等、人として大切な心も育ってほしいと思いました。　受け入れ家庭の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。

〇生徒の感想

3日間、漁業の大変さやうれしさ、達成感を知ることができました。しかしこの体験で、大変さやうれしさの他、受け入れ家庭の方が、僕たちにきびしく接してくれたおかげで、礼儀や近所の人との付き合いの大切さや、自分たちでいろいろできる楽しさや大変さを知りました。
だけど、今まで自分が学校や家で甘えていたと分かりました。学校や家、その他の人々は、僕たちを成長させるために日々苦しんでいてくれたんだと分かりました。3日間ありがとうございました。

受け入れ家庭の方とたくさんの色々なことを学びました。
「人生は何事も挑戦。」、「人間としての目的を果たす。」、「中学生の今を大切にする（基礎を身に付けること）」、「農家の仕事で人間性も育つ。」等、自分の人生で将来ためになることを話してくださった。校長先生が言われていた「すばらしい出会い」ができた農泊だったと感じました。

第1学年　ふれあい合宿　　～規律と思いやりの心を～

5月16日（火）～18日（金）小倉南区北九州市立かぐめよし少年自然の家においてふれあい合宿が行われました。学校や家庭を離れ、豊かな自然の中での集団活動を通して、集団行動の大切さ、思いやりの心、人のよいところを認める心等、多くのことを学んだと思います。

〇生徒の感想

周りに支えてくれる人がいること。私はふれあい合宿で大切なことに気付かされました。今までの私は、難しいことやつらいことがあるとすぐに逃げ出して、どうせ無理なんだからと言って、手をつけないことがありました。今回も登山の前はずっと自分がリタイアするシーンばかり想像し、登り始めても、想像以上のつらさにマイナスの考えがふくらんでいくばかりでした。
しかし私がつらそうにするたびに、後ろにいた人が私のリュックを押して、励ます言葉をかけてくれて、とてもうれしくて、ここにいる全員で登りきりたい！という思いが強くなりました。ついにみんなで励まし合いながら全員で山頂に立つことができました。周りに支えてくれる人がいると、どんなに難しいことでも乗り越えられる。
私はいつまでも支えてもらう側ではなく、人を支えられる側の人になりたいと思いました。

ふれあい合宿で友達と協力する場面では、特にその人の良さがわかると思いました。登山ではプラスの声掛けをして励ます人、話しながら仲を深める人。自由時間にたくせん話してくれる人。自分の仕事に責任をもって活動する人。一人一人が違う性格をもっていて、たくさんの人のおかげで、協力や絆は生まれていくとわかりました。
反省する点もありました。メリハリをつけて行動することや、自分の事は自分で責任を持って行動することです。この学年で良いことは、励まし合ってそれを力に変えることです。これを学校生活に活かしていきたいです。

生徒総会　　～より良い学校、より笑顔あふれる学校に～

生徒総会は、5月23日生徒総会が行われ、今年一年間各委員会の活動等が審議されました。生徒総会は、「落ち着いて学習や部活できる学校にするためにどうすればいいか。」を考えること、つまり「生徒の手で学校をつくる。」という「自主自立の精神」を学ぶ意義があります。

〇生徒会長の感想　「生徒総会を終えて」

先日行われた生徒総会は、生徒全員が協力し積極的に参加できた、とても有意義な会となったと思います。多くの生徒が学校生活をよりよくしようと、真剣に考え、議論する場となったこと、又今以上に高生中学校を高めようとする意欲が感じられ、本当に嬉しく思いました。よい伝統を引き継ぎ、良いものを更に工夫しながら、全校生徒の力を合わせて、更に良い学校、更に笑顔あふれる学校にしていきたいと思います。
最後になりましたが、今回の生徒総会が成功に終わったのは、生徒の皆さんはもちろん、先生方のおかげです。本当にご協力ありがとうございました。